

3 年 学 年 通 信

第 1 4 号 平成 2 3 年 1 0 月 2 1 日 大江高等学校 第 3 学年部 発行

◆ 学年のスローガン・目標 ◆

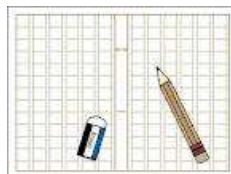
～ 開けよう！ 未来への扉！ ～

- ① 教室美化
- ② 携帯電話禁止
- ③ 社会に通用する言葉遣い



◆ 先輩の苦手科目克服法 ◆ (出典：リクルート進学ネットより)

合格した全国の先輩がどのように苦手科目を克服したか紹介します。今回は推薦入試などで多くの人が必要とする小論文・面接です。参考にしてください。



小論文対策

小論文 1 本、新聞、ニュース・・・いろんなところから情報を収集する

・知識がないといけないので、ニュースや新聞で時事問題などに触れたり、それについて考えてみて、自分の意見をもつことが大切だと思います。(日本獣医生命科学大学)

・とにかく自分の知識量を増やす。突然新聞を毎日読め!! はきついから、まず初めは、新聞の表紙を読むことやニュース番組を見ることから始めてください。興味のあるニュースや自分の目指している学部に関係のあるものを本やインターネットを使って調べれば良いと思います。(法政大学)

・新聞の記事やニュースに注意する。わたしは医療系だったので、医療に関する新聞の記事をスクラップにして集めました。全部読まなくても、どういことがあったのか軽くでも頭に入っていると、小論で自分の意見を書くときの材料になると思います。(北里大学)

・対策を始める以前に、普段から本を読む習慣をつけておくといい。(関西医療大学)

小論文 2 書かないことには始まらない

・小論文はとにかく自分で書いてみないことにはどうしようもないと思います。それを何回も先生方に見てもらい、修正することで最高の答案に仕上げていく過程をもつことが大事だと思います。あと、実際に自分に興味のないことは、書いても心に訴えかける文章になりにくいので、できるだけテーマを自分の興味のあることに近づけて考えるといいと思います。(神戸市外国語大学)

・何回も書いているうちに自分の悪い癖や、いいところが自分でわかってくるので、何回も書いて先生からたくさん注意を受けてください。(東京女子体育大学)

小論文 3 整理をしながら明確に書く心がけを

・文章を書き出す前に紙や自分の頭で自分の書きたいことを想像、整理すること。あと、どんな課題が出て負けない集中力と勇気も・・・。(日本大学)

・論文は主語が大事。結語には必ず、自分はどうした、どう考えるなどの意思を明確にすること。(首都大学東京)

小論文 4 過去問は必ずおさえる

・大学によって形式はまったく違いますので、過去問を手に入れてやってみることは絶対にしてください。オープンキャンパスでももらえることもあります。(立教大学)

・過去に出された課題文で小論文を書き、国語と志望の専攻・コースに関する科目の先生に添削してもらおう。(中央大学)

小論文 5 その他

・自分が一番言いたいこと(核)をしっかりもつ。なかなか決められない場合、自分の過去の体験を思い出してみると経験からものが言えるので、書くときも有利になるし、説得力がある。(玉川大学)

面接対策

面接 1 頭の中を整理する



・質問されそうな問題をノートに書き出し、それに対する答えをある程度考えて書き留めておく面接ノートを作っていました。大体言うことを頭に入れておけばあせらない! 丸暗記はダメ! 本番で忘れたら、頭が真っ白になって何も言えなくなってしまう。(東京家政大学短期大学部)

・答える内容は紙に書いておきました。暗記すると飛んだときにあせるので、内容をまとめる程度で。そうすると自分の考えもまとまっています。(東京慈恵会医科大学)

面接2 何度も練習する

- ・学校の先生に何度も模擬面接をしてもらった。褒めてくださったので、自信に繋がった。友達は校長先生に面接をしてもらっていた。(金城大学)
- ・何度も練習すれば、迷ったときになんとか対処できるようになる。(愛知淑徳大学)

面接3 いろんな人に模擬面接をお願いする

- ・多くの先生方と面接の練習をしましょう。先生によってはアドバイスが違ったりして、自分のタメになります。怖い先生などに練習してもらおうと、本番で緊張せずに挑むことができますよ。(館林高等看護学院)
- ・学校の先生相手に練習するのがいいのですが、担任などの慣れた先生じゃなくてあまり親しくない先生がいいと思います。本番の相手は本当に見知らぬ人なので結構緊張します。(兵庫医科大学)

面接4 緊張しすぎないよう心がけて

- ・面接官の方も人間です。会話でいいのです。落ち着いて自分の思っていることを言えば大丈夫ですよ。(立教大学)
- ・万が一、わからない場合はモジモジするよりも、「すみません。わかりません」と答えること。万が一、頭が真っ白になってしまったら、「すみません。緊張して、頭が真っ白になってしまったので少し考えさせてください」と言うこと。(桜美林大学)
- ・面接対策の参考書などを読んで、イメージトレーニングを繰り返し、本番では気負わないように、「教授とお話をしに行く」という気持ちで行きました。(学習院大学)
- ・緊張すると思うけど、笑顔ではきはきと話せば大丈夫です。(清泉女学院大学/みか)

面接5 その他

- ・自分の言葉で伝える。(横浜国立大学)
- ・事前に提出した書類があったら、そこから出る可能性があるからきちんと答えられるように。(法政大学)
- ・身だしなみ、姿勢にも気をつけて、とにかく何回も練習する!!(ECC国際外語専門学校)
- ・私は試験室に入るときの入り方、お辞儀の仕方など、学校の先生や親に何回も見てもらいました。練習すると自信がつきます!!!(岡山大学)



◆ 先生からのメッセージ ◆

今回は、安村先生からメッセージをいただきました。

安村 美穂 先生 (いつも保健室にいらっしゃいます)

朝夕冷える季節となりました。3年生のみなさんは就職・受験と、忙しい日々を送っていることと思います。今回は保健室から安村が、若かりし頃の話をしたと思います。

私が進路を決めたのは、高校3年生のときでした。母方の親戚がある岡山県の短期大学に進学しました。今思えば、なぜそこだったのか。親戚宅から短大までは電車で約2時間。別に実家から通える京都の大学だってあったのに何で??と、正直今でも訳が分かりません。

ただ、楽しかったです。短大生活。短大は、高校の延長のようなものでした。時間的に四年制大学ほど余裕がないので、1週間ほとんど朝から晩まで講義が入っていました。ちなみに、結構小心者でまじめなタイプの私が、人生で授業や講義をサボったのがこの時で、たった1コマ、英語の講義(豪華客船が沈没しちゃう映画を、字幕なしで見るという授業。分からんつーの)、しかもサボって行った先は、短大の図書館というどうにもしょぼいものでした。

講義自体はほぼ一日中入っていたので、大変ではありましたが、友達と遊んだり、学校祭やサークル、他大学との交流など、充実したものであったと思います。その中で、たくさんの選択をしました。日々の講義選択から、お昼ご飯を食べる場所、どの友達と付き合うか、サークルに卒論ゼミにそして、最終的な進路まで。いつでも初めは一つなのに、考えれば考えるほど選択肢は増えて枝分かれしました。

保健室によく来る人は、私がわりと適当な人間であるということを知っているかもしれません。そして面倒くさがりである、ということも。そんな私でも、ずいぶん悩みました。そして悩んだ末に、今私はここにいます。

今のみなさんには、たくさんの道があります。今なら、選べる道があります。たくさん悩んで、考えて欲しいと思います。選択肢が少ない時は、選択肢を増やす努力をしてください。そして、自分の道を自分で選べるようになって欲しいと思います。その中で、もしも疲れたときは、保健室へ。ちょっと一息つく時間と場所を提供します。みなさんが、より良い道へ進めますように、保健室から応援しています。成せばなります!

*次号の学年通信は、11月上旬発行の予定です。

*大江高校の最新情報は、下のアドレスで随時公開しています。

ホームページ用：www1.kyoto-be.ne.jp/ooe-hs/

携帯用：www1.kyoto-be.ne.jp/ooe-hs/m/ QRコードを御利用ください。

*OE-Studyポータルサイトでは、現在大江高校で取り組んでいるフロンティア事業、学習ノウハウ、特徴的な取組などの紹介をしています。ぜひご覧ください。

OE-Studyポータルサイト：<http://crsel.jp/oestudy/>

